

今年も4月1日から販売致します！

2018年新入学 高島屋のランドセル



■昨年のランドセル概況

昨年（2017年新入学向けランドセル）は、百貨店業界のトップをきって4月1日から販売をスタート（2016年新入学向けは4月下旬から販売）。その結果、4月・5月の売上が伸張、特にゴールデンウィークを含む5月の高島屋グループのランドセルの売上は、前年同期と比べて10倍以上となりました。売上のピークは夏休み期間中ですが、昨年は7月の売上が前年比42.8%増と急伸、例年のピーク月だった8月の売上を上回り、年々購入時期が早まっています。高島屋グループのランドセルの売上は右肩上がりに伸び続け、昨年は前年比約13%増でした。また、オンラインの売上の伸びも大きく（前年比42%増）、ピーク時の7～8月だけでなく、入学直前の1～2月の売上も伸長しました。

■ランドセル選びの傾向

●カラー・デザイン



女の子

ここ数年は映画『アナと雪の女王』などの影響で、パールがかったブルーやパープルなどの寒色系が人気でしたが、最近では6年間背負うことを意識して、キャメルやブラウンなどの落ち着いた色が人気です。デザインも飽きの来ないシンプルなものや、取り外しの出来るリボンのついた（低学年ではリボンを着け、高学年になったらリボンを外すことができる）タイプのものが人気です。

男の子

色は依然として黒が主流なものの、黒×ブルーや黒×レッドなど、ワンポイントで色を効かせたタイプが人気です。また〈ナイキ〉や〈プーマ〉といったスポーツブランドが根強い支持を得ています。



●素材

軽くて手入れのラクな人工皮革が依然主流ですが、「子どもに上質なものを持たせたい」という本物志向の高まりにより、天然皮革の人気が高まっています（天然皮革の売上シェア：5年前は約5%→昨年は約15%）。

●「ラン活」

多くのランドセルの中から自分の子どもに最適なものを選び出そうと、祖父母・両親が購入前にインターネットで調べたり、複数のお店を回って比較検討する「ラン活」（ランドセル活動）が活発化しています。当社でも「ラン活」の時間を考慮し、昨年よりゴールデンウィークに先駆けた4月1日より販売をスタートしています。

■2018年 高島屋のランドセル

- ・取り扱う種類 : 最大 164 型 (昨年 136 型。約 20%増)
- ・価格帯 : 51,840 円～129,600 円
- ・売れ筋の価格帯 : 64,800 円～70,200 円

■2018年高島屋 特徴的なランドセルの紹介



文部科学省が今後、小学生に一人1台タブレットを配布することを目標としている中、タブレット教育が始まってでも対応できる、タブレットケース付のランドセルを高島屋オリジナルで製作しました(実用新案出願中)。ボタンで固定できるタブレットケース付なので、中でタブレットを安定させられます。デザインは EVOLTA やロボホンなどを開発した、今話題のロボットクリエイターの高橋 智隆さんが監修。機能性もデザインも近未来的で個性溢れる一品です。

〈タカシマヤ〉ランドセル 88,560 円

今年、放送開始 50 年を迎える「ウルトラセブン」。それを記念してウルトラセブンをイメージしたランドセルを高島屋オリジナルで製作致しました。ウルトラセブンを象徴する赤×シルバーの配色が特徴。故郷である「M78 星雲・光の国」にちなんだ 78 点限定販売です。

〈タカシマヤ〉ランドセル 103,680 円



©円谷プロ

その他、「オロビアンコ」「シンシアローリー」「パンナム」など、高島屋だけのカラーやデザインを含め、業界最多 26 ブランドを取り揃えます。